

登録団体紹介

■ あゆみの会

私たち「あゆみの会」は、真岡市の地域活動事業の中のミニデイホームを開催するため、20年前に高勢町に出来たグループです。

ミニデイホーム事業に関しては、毎月第2木曜日10時～14時頃まで、高勢町第2公民館で行っています。参加者は75歳以上で平均すると20名前後です。歌あり、踊りあり、笑いありとみんなで楽しんでます。皆で食べる昼食も美味しいと評判です。又、年1回のクリスマス会には50名前後の参加者で盛大に行っています。

ミニデイホーム事業だけでなく、高齢者の方々と交流や助け合いなどもっと地域の方々とふれあいが出来たらと、今もスタッフ8名で頑張っています。

代 表：森 セイ子



■ 押し花・園芸福祉 かすみ草

私たち「押し花・園芸福祉 かすみ草」は、押し花経験者有志でスタートしました。簡単な押し花小物を楽しみながら、生き生きと充実した暮らしのお手伝いのできればと考えています。

地域のイベント・福祉施設・公共施設・自治会や育成会・学校関係などで、押し花を使っている作品制作をサポートしてきました。また、他の登録団体ともコラボして活動内容を広げています。

壁飾り・しおり・コースター・レジンアクセサリー・小物袋・キーホルダー・簡単額カードなどを作って、押し花の魅力を一緒に感じてみませんか。



代 表：須藤 典子



■ 二宮報徳会

二宮報徳会は、郷土の偉人である二宮尊徳翁の功績や仕法を学習し、実践していこうと、平成8年に結成されました。現在会員は16名で、尊徳翁についての研修会の開催や他市町の報徳関連団体との交流会、尊徳翁ゆかりの地などの視察研修等を行っています。

また、桜町陣屋跡に整備した報徳田での米作り体験事業への参加協力をするほか、全国報徳サミットへ毎年参加しております。

私たちは今後も、豊かな地域社会づくりの一助となるよう、尊徳翁の報徳仕法の精神を学び、実践していきたいと考えておりますので、興味のある方は、ぜひ入会して一緒に学んでみませんか。

代 表：上野 文男



(成田山新勝寺への研修会)

真岡市市民活動推進センター コラボレもおか

〒321-4507
栃木県真岡市石島893-15 真岡市二宮コミュニティセンター2F
T E L : 0285-81-5522
F A X : 0285-81-5558
e-mail : collabo@trad.ocn.ne.jp
U R L : http://www.collabo-moka.net/

【開館時間】 火～金：9:00～21:00

(土・日は18:00まで)

【休館日】 毎週月曜日・祝日
年末年始(12/29～1/3)

※その他イベント・施設管理の関係で臨時に休館になる場合があります。



コラボレもおか
イメージキャラクター
コラちゃん(左)と
ポーレくん(右)

ギャラリー 日本野鳥の会 栃木県支部



「アオバズク」(山田 旺育さん)

もおかの人と人をつなぐ広報誌

コラボ!

第38号

2018.7

真岡市市民活動推進センター コラボレもおか 【運営団体】特定非営利活動法人ま・わ・た

開催!

特集

第7回真岡コラボまつり!!

6/3日



6月3日(日)に二宮コミュニティセンターと、にのみや“とちおとめ”ホール(生涯学習館)を会場に「第7回真岡コラボまつり」を開催しました。

当日は、とてもいい天気にも恵まれ、皆さん朝早くから準備に余念がありませんでした。

開会式では、来賓として石坂市長をお迎えしてご祝辞をいただき、まつりのスタートを華々しく飾っていただきました。

今回も、半年間の期間をかけて作り上げた真岡コラボまつり。班体制の強化や、会場の変更などありましたが、無事終わることができました。なかでも、全体の運営を支えてくれたボランティア班の頑張りは素晴らしいものでした。皆さんの活動を盛り上げたいという気持ちがあってこそその成功だったのではないのでしょうか。

次回も、今年以上に、この市民活動の祭典・コラボまつりが盛り上がりげればと思います。

(参加人数 約2,100人)

活動報告

第51回こらぼ茶話 「プリザーブドフラワーで潤いを」

12/13 水



フラワーエデュケーションジャパンの檜山きみさんを講師にお招きし、生花と変わらない美しさを長く保つ事ができるというプリザーブドフラワーを作りました。
プリザーブドフラワーは結婚式や誕生日プレゼントとして人気があり、参加者が各自のセンスで赤、青、黄色の3種類の花から好きな色を選び作品を作りました。
花や葉にワイヤーをかけ、テープを巻いていきます。テープは伸ばすと粘着がでる特殊なもので、巻き初めに苦戦している方が多く見られました。
皆さんバランスを考え、楽しそうに作っていたのがとても印象的でした。(参加者12名)

第52回こらぼ茶話 「花屋に学ぶ塩糎」

2/21 水



講師に渡辺花店の渡辺千春さんをお招きし、塩糎作りにチャレンジしました。
事前に準備して頂いた材料を混ぜるだけで、とても簡単に作る事ができました。材料を混ぜていると、次第にいい匂いが漂ってきました。完成した塩糎は毎日軽く混ぜると良いそうです。なんとお土産に糎あめと糎漬けた鮭もいただきました。
塩糎の様々な楽しみ方を学べる講座でした。(参加者28名)

第53回こらぼ茶話 「苺ジャムを作ってみよう」

4/19 木



NPO法人ま・わたの森セイ子さんを講師に、旬の苺を使ったジャム作りを行いました。
冷凍した苺をそのまま鍋に入れ、レモン果汁、砂糖を混ぜて10分程置いた後、火にかけ灰汁を取りながら煮詰めました。苺が柔らかくなったら完成です。とても短時間で作ることができて好評でした。
作り終わった後は、クラッカーにジャムを載せみんなで試食会を行いました。
差し入れの生姜のジャムやリンゴとルバーブのジャムといっしょにそれぞれの味の違いを楽しむことができました。(参加者13名)

第54回こらぼ茶話 「健康吹き矢でエクササイズ」

5/15 火



「栃木県車椅子の会」の村上八郎さんを講師に迎え、健康吹き矢でエクササイズを行いました。
まずは吹き矢の基本動作である腹式呼吸を教わりながら全員で練習し、その後4グループに分かれて実際に矢を飛ばしました。
後半になるにつれ、慣れてきて高得点を出せるようになった人もいれば、疲れて点数が下がってしまった人もいました。日頃から運動を行っている方は姿勢も良く、初めてでも高得点のようでした。
ゲーム感覚で楽しみながら、呼吸法を知ってちょっと健康になれた講座でした。(参加者14名)

活動報告

共催講座 「初心者向けギター弾き語り講座」

4/18 水



「うちにあるギターを弾きたい!」「買った方がいいけど…」などのニーズを受けて、「アミーゴス」の青柳さんと「Moka Hawaiians」の阿部さんのお二人が企画し、共催講座として実現しました。以前、単発で実施した講座の感想で「もっと教えてほしい」との意見があったことから、全12回のシリーズ講座となりました。

定員15名に対して21名の申し込みがあり、ギターへの興味関心の強さがうかがえました。初回は、特別に全員参加で開催しました。

お二人の紹介ののち、参加者の皆さんにも自己紹介とギターの種類、やってみたいことを紹介してもらいました。ほとんどやったことのない方から、他に楽器を使っている人まで様々でした。その後は、チューニングなどを教えてもらいながら、音出しからスタートしました。

「わからない」といつつ、皆さんとても楽しそうに活動していました。この後、参加者の奏でる音色がどう変わっていくか楽しみです。(参加者19名)

共催講座 「地域で考える居場所づくり講座」

4/21 土



二宮コミュニティセンター会議室にてNPO法人みんなだれかの仲良しの世界との共催で、居場所づくりについての講座を開催しました。

初めに鹿沼市にあるNPO法人福聚会和久井亭の石網秀行さんから、高齢化社会における日本の課題から地域での実践活動まで幅広い内容についてお話をいただきました。

つづいて事例報告では、まず真岡市社会福祉協議会の堤芳弘さんから「いきいきプラン山前」の紹介を通して真岡市の現状から事業の成果のお話をいただきました。

次にNPO法人リスマイリーの山口真由美さんから全国的にも例の少ない訪問型病児保育について紹介していただきました。

最後に共催団体であるNPO法人みんなだれかの仲良しの世界の山下みゆきさんが団体の活動について提案を交えて紹介しました。地域の子どもたちのために自分たちに何が出来るか、地域の大人や老師と共に考えていきたいという熱い想いを伝えていました。

関係性が希薄になりつつある今だからこそ「地域の居場所」はさまざまな地域課題解決のアプローチの一つとして注目されています。今回の講座が、地域の「こまった」を「よかった」に変えるきっかけとなればと思います。(参加者44名)

新規団体紹介 (4月現在)

団体名	主な活動内容
栃木・宮沢賢治の会	宮沢賢治作品の鑑賞や講演会等の情報交換や月1回会報誌「ぎんどう」の発行。
projectSSB	市貝町非公認のご当地ヒーロー「芝桜戦士サシバード」による地域PR、自然保護普及活動。
ウクレレ同好会 シルバーズ	ウクレレ演奏による老人施設へのボランティア慰問。
フラサークル カウルアナニ	フラダンスの発表・簡単なレクチャー。フラダンスを希望した施設や団体との交流。
きらり花倶楽部	四季の草花を押し花にする技術を学び、仲間との交流やポールウォーキングを取り入れ、健康づくりと花摘みなど楽しむ。
演劇集団 サジカゲン	演劇の上演及び練習と市民の文化活動の推進。